

市議会だより

No.74



2024年5月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集 特別委員会



第2回定例会、議員賛否

P2

総務文教常任委員会

P13

一般会計当初予算内訳

P3

市民福祉常任委員会

P14

本会議・予算常任委員会

P4

産業建設常任委員会

P15

一般質問

P5～12

任期を終えて・人事案件
・編集後記

P16

令和6年度 気持ち新たに
市民全体の福利の向上を目指します

—第2回(2月)定例会—

本庁舎移転(田沢湖から角館へ)の条例改正案が否決される

令和6年 第2回定例会が2月26日から3月19日まで23日間の会期で開催され、令和6年度当初予算などの予算関係27件、条例関係20件、その他4件、人事関係2件、諮問関係2件、議員提出議案3件の計58件が審議され、議会初日の提出案件はすべて可決・同意されました。最終日に本庁舎移転の条例改正案が提出されましたが、2/3以上の賛成が得られず否決になりました。

■第2回定例会で審議された条例関係等議案

- ◆仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ◆総務部、企画部及び教育委員会に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◆市民福祉部に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◆観光文化スポーツ部及び農林商工部に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ◆仙北市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市市民バス条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市多世代交流施設条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市学校林に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市小中学校条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市病院事業会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◆仙北市高齢者生きがい通所事業使用料条例を廃止する条例制定について
- ◆仙北市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例制定について
- ◆市道の変更認定について
- ◆市道の認定について
- ◆上桧木内辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定について
- ◆仙北市監査委員選任につき同意を求めることについて
- ◆仙北市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- ◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(2名)
- ◆仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について **【否決】**
- ◆財産の取得について(小学校教科書・指導書購入)
- ◆議員提出議案第1号 仙北市議会政務活動費の交付に関する条例制定について(年額18万円を一括して交付)
- ◆議員提出議案第2号 仙北市議会基本条例の一部を改正する条例制定について
- ◆議員提出議案第3号 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出

議決結果/議員賛否

令和6年 第2回 仙北市議会定例会(招集日:令和6年2月26日 最終日:3月19日)

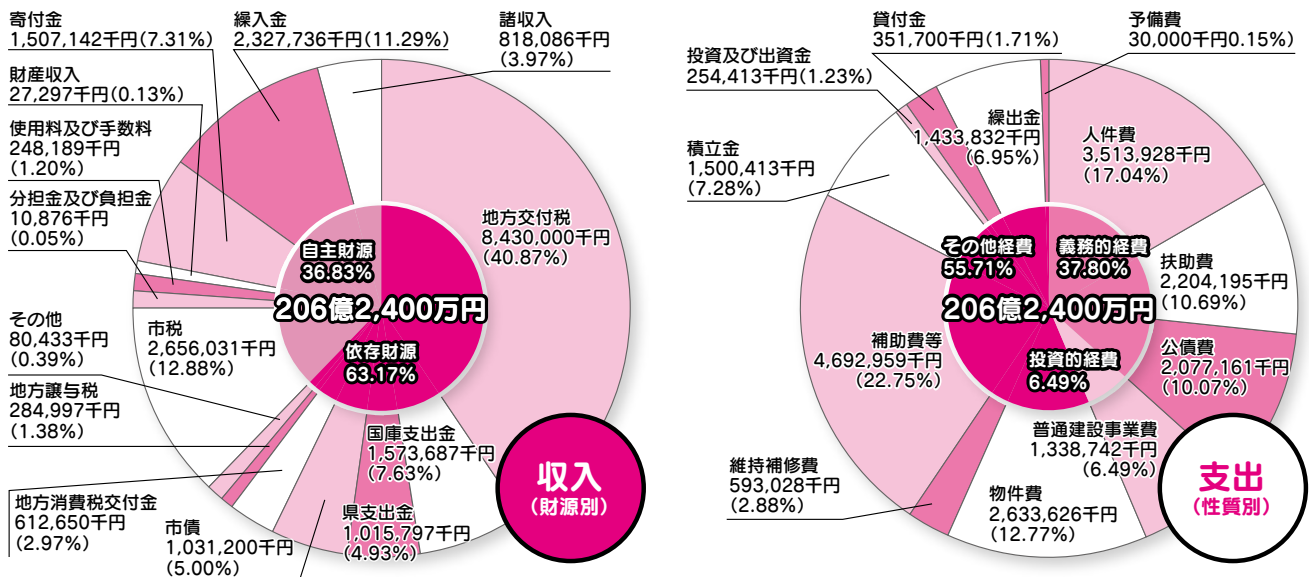
凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件 名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	蒼生会							公明党	共産党	無会派						
					小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎	門脇晃幸	熊谷一夫			平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	中村和彦	小田島広仁
議案第 8 号	仙北市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第22号	令和6年度仙北市一般会計予算		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第24号	令和6年度仙北市国民健康保険特別会計予算		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第36号	令和5年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第51号	仙北市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について		3/19	否決	特別多数議決（無記名投票 10 対 6）															
議案第53号	令和6年度仙北市一般会計補正予算（第1号）		3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	賛	賛	反	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和6年度 一般会計当初予算の内訳 206億2,400万円

令和6年度の当初予算は、コロナ禍からの着実な経済回復を実感する中で、「人口減少」「少子高齢」に代表される喫緊の課題に立ち向かい、市政理念の第一義「幸福度NO.1」の達成に向けて歩みを加速させることに重点を置いた予算との説明がありました。



令和6年度 一般会計当初予算の主な事業

令和6年度の事業は、直面している人口減少などの危機的状況を克服し、未来に繋げる一歩とするため、子育て支援・少子対策、個性を生かした地域づくりや関係人口の拡大に重点を置いた予算になっております。具体的には、こども家庭センターの新設、全園児の保育料、主食・副食費の無償化、医療 DX 事業、インターナショナルスクール誘致事業や移住体験事業などを計画しています。

事業名	事業費(千円)	事業の概要
防災行政無線維持管理費	122,762	現行設備の維持管理と令和7年度からの新システムの導入・構築を行う
政策支援アドバイザーの委嘱	3,000	田口市長の政策全般について、立案＆実施支援を行う政策支援アドバイザーへの報酬
内陸線への補助金と利活用事業費負担金等	91,714	内陸線の運行維持の補助金や連携協議会の負担金、愛護会、駅前維持の支出
移住体験推進事業	9,052	移住体験住宅を設置し移住希望者に実際に住んでいただきイメージを醸成する
インターナショナルスクール誘致事業	28,929	豊富な観光資源やアクセスの良さを生かし外国人子女等の定住や交流人口を増やす
地域運営体活動推進費交付金	20,340	地域での課題解決に向け地域運営体への支援を継続する(昨年度比 △ 234 万円)
育児支援金給付事業費	2,425	1 歳児 & 2 歳児に 15,000 円を現金支給し子育て世帯を支援する
出産準備金給付事業	7,536	妊娠届出時5万円、出産届出時5万円の合計10万円を支給し子育て世帯を支援する
あきた出産おめでとう給付金支給事業	1,500	出生届出を行った家庭に出産祝金として2万円を支給する
こども家庭センター運営事業	3,542	「こども家庭センター」を開設し、妊娠から18歳までの支援をワンストップ化
すこやか子育て保育料助成事業	37,244	0歳児から全園児の保育料を無償化する
保育施設等主食費無償化事業	1,929	3歳児から有償だった主食(米飯)を全園児無償化する
MRI 無痛乳がん検診補助金	1,730	無痛MRI乳がん検診の半額(11,000円)を補助する
多面的機能支払交付金事業	175,643	農地・農業用施設の保全や地域環境の保全等の共同活動への支援
有害鳥獣駆除事業	7,610	有害鳥獣の被害防止事業。特に急増するクマの対応策を強化する
冬期交通対策費	483,963	冬期の除雪費 ※昨年に続き当初予算に計上した
スクールバス購入事業	12,642	令和7年4月の角館小学校と白岩小学校の統合に伴うバスの購入(29人乗り)
学校施設環境改善交付金事業	30,906	小・中学校の和式便器を洋式便器に改修する(洋式化60%以上を目指す)
特別会計及び企業会計への補助金	2,123,977	病院事業へ8億1,271万円、下水道事業へ6億5,000万円、水道事業へ1億5,800万円など
令和6年度一般会計補正予算(第1号)庁舎整備事業費	54,104	旧角館総合病院のアスベスト調査費及び解体・改修の実施設計に係る費用

一般会計市債(借金)残高	209億3,014万円	令和5年度末は219億3,302万円だったので10億288万円減少
財政調整基金(貯金)残高	2億8,892万円	当初予算に除雪費を計上(4億8,396万円)し残高が3億弱となっている

ふるさと納税寄付額26億円超に～災害代理寄付金3千万円石川県に送金～

令和5年度一般会計補正予算（第15号・第16号・第17号）の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	1億2,000万円	寄付見込み額を増額（令和5年度 合計で 26 億 2,800 万円）
ふるさと納税ふるさと便事業費	3,023万円	ふるさと納税による災害代理寄付金分を石川県に送金する
障害者自立支援給付金	2,142万円	医療・介護給付費及び補装具の申請件数が当初見込みを上回り追加
教育・保育施設給付費	7,043万円	保育施設へ入園する子どもの人数が当初見込みを上回るため不足分を追加
生活保護費	1,214万円	実績見込みによる不足分の追加（令和5年度 合計 4 億 5,221 万円）
新型コロナワクチン接種体制確保事業費	5,802万円	令和4年度事業の国庫負担金清算に伴う返還金の追加
新型コロナワクチン接種対策事業費	4,811万円	令和4年度事業の国庫負担金清算に伴う返還金の追加
病院事業会計補助金	5億2,065万円	医師確保経費や物価高騰への一般会計から病院事業への補助金の増額（一般会計からの補助金合計 13 億 5 千万円）
市民浴場管理運営費	980万円	東風の湯の源泉を吸い上げるポンプ修繕工事費（6月1日から再開予定）

本会議・予算常任委員会での主な質疑

防災行政無線を今後はどうしていくのか

質問 令和6年度の維持管理費が例年より1億円以上多いが、新しいシステムを導入するのか。また、現在の屋外のスピーカーや戸別受信線機はどうなるのか。

答弁 現在の防災行政無線（屋外スピーカー、戸別受信機）は、令和7年3月末で廃止する。令和7年4月から、新たなシステムに全面移行する。まずは、仙北市公式 LINE で防災情報を発信するので、市民に仙北市公式 LINE への加入を促進する。仙北市公式 LINE を受信できない世帯には、新たに戸別受信機を貸与し、防災情報を放送する。令和6年度の予算は、新システムの構築経費と新たな戸別受信機の購入費である。

移住体験推進事業とは

質問 令和6年度の新規事業である移住体験推進事業の具体的な内容とスケジュールを伺う。

答弁 仙北市への移住希望者向けに、実際の生活に近い形で移住を体験できるための住宅を整備して、2泊3日から1週間程滞在していただくための事業に905万2千円の予算を計上し、8月頃からのスタートを予定している。

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 令和6年度は3ヶ年計画の2年目として、2,892万9千円の予算を計上しているが、具体的な事業内容と候補地としての遊休施設とは何処を指すのか伺う。

答弁 学校運営法人や事業者パートナーに向けたニーズや市内で不足するサービスの調査や日本語に不慣れなインターナショナルスクール生が言語の壁を意識せずに市内を移動できるシステムの構築など、誘致活動を企画運営する業務を委託する。また、市内の調査場所として、スイス村跡地、ハートハーブ、生保内下高野の原野、田沢湖駅裏の空き地、市民会館の隣接地、西長野交流センターの6箇所を調査した。

東風の湯の営業再開について

質問 1月11日から休業している東風の湯のポンプの修繕工事費とのことだが、具体的な工事内容と修繕に至るまで何故これほど日数がかかったのか伺う。

答弁 調査の結果、源泉坑内内壁から発生した錆と温泉成分が結合したスケールを大量に吸引したことによるポンプの破損が原因であり、源泉井戸坑内の洗浄とポンプ等に大量に付着したスケールの除去と修繕である。日数がかかったのは、ポンプを設置した会社が廃業し、新たな業者選定と原因の究明に苦慮したからである。

仙北市役所の位置を変える条例改正案（田沢湖から角館へ）が否決される！

～賛否両論 5名の議員が討論／旧角館総合病院解体と管理棟改修の実施設計の補正予算は可決される～

賛成討論

- ①仙北市の現業機関が角館庁舎一つにまとまっている現在、市長室や総務企画部門が田沢湖庁舎にあることのメリットはない。合併事業の総仕上げとして、未来を見据えたコンパクトで持続可能な行政機構となることを強く希望する。
- ②昨年7月の豪雨の際は、分庁舎であるが故の意思疎通が取れず、指揮命令の遅延が生じていた。防災・減災の観点から市民の命を守ることを最優先に考えた場合、やはり庁舎の集約が必要である。
- ③今後職員削減が進むことで分庁舎方式を維持するための人事配置そのものが困難になる。職員が集結し、部局横断的な体制整備が必要である。

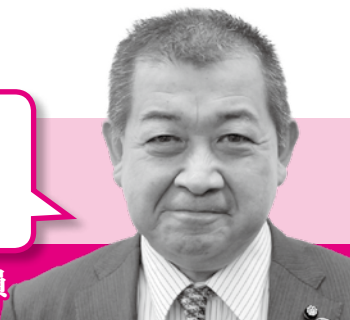
反対討論

- ①不安を抱える多くの市民がおり、もっと丁寧で細かな説明と市民の意見を聞いて欲しい。また、移転後は職員数や来庁者数が大きく減少し、飲食業をはじめとする多くの事業者へのダメージが大きい。
- ②多くの市民が望んでいることは、庁舎機能の移転・集約ではなく、新たな借金をせず、まだ使える庁舎を使う現在の分庁舎方式の下、各地域で同じサービスを受けながら安心して暮らせることではないか。

※無記名投票の結果 賛成 10 反対 6 で否決（この条例改正には 2/3 以上の賛成が必要）

安全安心な上水道の未普及地解消を

蒼生会 眞崎 寿浩 議員



市長

上水道への加入動向と老朽管更新との優先度を検討し判断する

神代全体全域の水道計画について

質問 年度ごとの計画も含め、住民への事業の進捗状況の説明は十分なのか。

答弁 現在、未普及地解消事業を行っている卒田地区については、一部進捗の遅れがみられ、令和7年度完成を目指して実施しているが、昨今の物価高、人件費の高騰により、計画事業費内での完成が難しい状況である。今後、国・県と協議し、事業費の増額及び期間延長等を検討していく。

決定次第、加入予定者の方々に周知していく。

質問 現在工事中の卒田地区の真崎地下道付近で水道管の敷設がストップしており、管が繋がっていないなどの情報を付近の住民から聞いたが、状況について伺いたい。

答弁 (建設部長) ご指摘の真崎地下道を利用して



■予定を変更し水道管敷設が迂回された真崎地下道

の水道管延伸工事については、鉄道の下を通って管を延伸する予定だったが、工事費が高いことから、迂回という形で工法を変えて延伸工事を行う予定である。

質問 令和5年度までに上水道に加入意思のある世帯に対しては、再調査を行うとしているが、再調査は行ったのか。また、調査結果はどうであったか。

答弁 令和6年度以降に計画のある卒田地区、角館東前郷地区については、再意向調査を実施中で、回答期限を3月

末としている。至急調査の結果をまとめ報告することになっている。

質問 今回の計画から外れた上水道未普及地域の対応はどのように考えているのか。

答弁 未普及地域からの要望や緊急度合い等を調査、検討し、次期の水道事業基本計画に取り組むことになるが、多額の費用をかけて整備したにも関わらず整備後の加入率が低迷しており、事業実施にあたっては、慎重にならざるを得ない状況である。

質問 神代地区で公共施設が集中している場所(神代出張所・学校等)は優先的に上水道を供給するべきと考えるが、敷設の考え方と必要性について伺う。

答弁 この場所は水道事業基本計画の中で、未普及地域解消事業地区の一つであり、今後、意向調査を実施し加入動向等を調査したい。

一方、現在多くの市民が利用している既存の水道も、老朽管等の更新が急務となっており、これらの更新事業も非常に重要であるため、基本計画の見直しを行い、総合的に検討し判断していきたいと考えている。

井戸水のピロリ菌対策について

質問 神代地区に移住を予定していた方が、井戸水でのピロリ菌に対して不安を拭えず、移住を断念したと聞いて、非常に残念だと思っている。このことについてどう思うか。

答弁 地下水イコールピロリ菌ということではないと認識している。特に美郷町は清水の郷として、優良な地下水を利用している造り酒屋や食品会社が事業を行っている。もし、神代地区の地下水に何か問題があれば、それはまた別に検討する必要があるのではないかと。

また、これまで強い要望があり、多額の費用をかけて上水道を敷設したところ、地下水のポンプが動いているうち、まだ上水道は使わないという方々が大半であること把握している。今後は、能登半島地震での教訓を生かし、耐震対応の水道管の敷設の重要性にも重きを置き、水道事業基本計画の再考を検討している。

(澤田雅亮記)

園児の布団が不要になるお昼寝コットの導入を

西宮三春 議員

市長

保護者の負担軽減と衛生面から導入を検討する



■タオル2枚程度の持参で済む
メッシュで水洗い可能なお昼寝コット

子育てしやすい仙北市を目指して

質問 ①子どもの障がいのあるに関らず、希望することも園に入園できているか。②令和5年度の保育士の現状と年度途中の入園希望の現状について

答弁 ①担任以外に園児をサポートする保育補助職員を有効に配置し、障がいのありなしに関らず、希望する園に全員入園できている。②保育士は、公立3園が32人、はなさき仙北5園が113人の合計145人である。年度途中の入園希望は、61人で入園できたのは53人。待機児童は8人いる。

質問 お昼寝用の布団類の運搬が、保護者の負担になっているが、北秋田市で使用している、衛生的で水洗いもできる簡易ベッドのお昼寝コットを導入してはどうか。

答弁 お昼寝コットは簡易な上、衛生的で布団も不要になり、保護者の負担軽減になる。問題点を洗い出し導入に向けて検討したい。

安心して利用できる公共施設管理について

質問 今年度、消防署から危険物取扱者が不在で指摘を受けた施設は改善されたのか。また、今後の資格取得に向けた方向性について伺う。

答弁 危険物取扱者が不在だった公共施設が10施設あり、4施設が改善された。今後は、小・中学校の校務員は全員が資格取得するよう調整している。他の対象施設も資格者が不在となる場合は、対象施設の職員が資格を取得することとしたい。

質問 地下貯蔵タンク漏れの防止措置期間が迫っている公共施設があるが、※内面ライニング措置等は検討しているのか伺う。

答弁 令和6年12月が措置

期限である田沢湖活性化センターの地下タンクは、現在、使用しておらず廃止する。他の施設についても、措置期限を確認し、内面ライニング措置等を検討している。

さらなる防災強化に向けて

質問 ①災害備蓄品に、夜用生理用品や授乳用品を拡充するなど、女性の声を取り入れているか。②各庁舎への分散備蓄の見解。③今年度の避難訓練の課題と消防署からの指摘事項。④令和6年度の避難訓練の計画、市職員へ防災士の資格取得を勧め、防災強化を図ることへの見解について伺う。

答弁 ①災害備蓄品は、避難所運営を経験した女性職員や女性消防団員の指摘や提案を受け、拡充・改善に努めている。②これまでの避難実績などを勘案し、一定数を各庁舎等に分散備蓄する。③角館庁舎での火災避難訓練では、来庁者の避難誘導が一番の課題だった。消防署からも、来庁者への避難を促す声掛けや、行動をとる職員がいなかったことへの指摘を受けた。④昨年

6月に実施した職員向けの避難所開設訓練を継続して実施する。また、大仙市、仙北市、美郷町合同の総合防災訓練を10月以降に実施予定である。職員の防災士資格取得については、資格取得の重要性を啓発することも大切な取り組みと考えている。

質問 女性の救命率を上げるため、市内公共施設に設置のAEDに三角巾の設置を要望する。

答弁 女性への装着時におけるプライバシー保護の観点からも、早期にAEDケースに三角巾を導入する。

田沢湖地区の今後の施策について

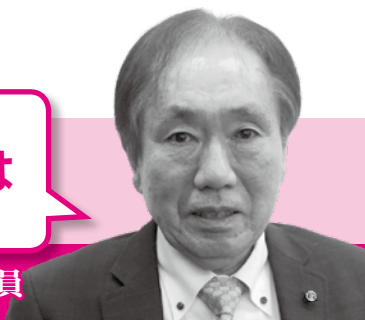
質問 国・県の補助金等を活用しての、令和6年度の田沢湖地区の地域振興策を伺う。

答弁 国の交付金を活用したインターナショナルスクール誘致の取り組みを加速化させる。スクール卒業生の受け皿となる企業誘致の提案があるなど、地域が大きく活性化する可能性があり、千載一遇のチャンスと捉えている。

(高橋輝彦記)

質の高い観光地を目指した高付加価値化とは

中村 和彦 議員



観光文化
スポーツ
部長

民間宿泊施設などの高級化を進め、 稼げる観光地を目指す

観光振興について

質問 安心・安全を基軸とした観光誘客体制の整備を行う所はどこか。

答弁 桜並木駐車場やアルパ駒草の部分改修、和賀岳の登山道整備、抱返り遊歩道の防護柵改修、玉川温泉歩道整備工事を行う。

質問 質の高い観光地を目指して高付加価値化を進めるとはどういうことか。

答弁（観光文化スポーツ部長）観光消費額の向上や観光客満足度の向上を目指す取り組みである。観光事業者と一体となつて、民間宿泊施設などの高級化を進めて稼げる観光地を目指す。

質問 歴史的文化遗产の具体的な活用を伺う。

答弁（観光文化スポーツ部長）文化財をいかに活用するか、現在策定中の文化財保存活用地域計画を基にまちづくりに繋げていきたい。

質問 武家屋敷に集中している観光

客を分散するため、外町地区を景観重点地区に指定することを考えているようだが、具体的な案を伺う。

答弁 角館駅から中心市街地を通つて武家屋敷に行く動線を作つていく施策が重要と考えている。滞在期間延長には、外町地区を景観重点地区に指定したいが、令和4年度に行つたアンケート調査では、回答率が2割、市民との意見交換会も企画したが、参加者が少なく、市民との合意形成には、時期尚早と判断した。



地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業
仙北田沢湖エリア 地域計画

■国の付加価値向上支援を活用し稼げる観光地へ

後どのように進めていくのか。

答弁 お祭りの運営は、角館祭りのやま行事実行委員会、保存や伝承は、角館のお祭り保存会が担つており、それぞれの自立性を尊重しつつ、サポートする立場である市や関係する各団体とも一丸となつて取り組んでいく必要がある。会館建設については、進展していない。引き続き財政状況の改善度を見ながら検討していきたい。

教育行政について

質問 公民館活動において、若者が参加しやすい講座の内容を伺う。

答弁（教育長）10代から20代を中心に体を動かすスポーツ分野、手芸などのものづくり、社会人向けに役立つ実用的な分野を想定している。

質問 ※コミュニティ・スクール推進に、担当教師の残業増や負担増にならないか伺う。

答弁（教育長）年3回ほど学校運営協議会を開き、授業参観も併せて行うので、日中開催が多い。教員は、学校と地域の思いを共有できる数少ない機会を有意義な時間と捉え

ている。負担感はあると思うが、教員には頑張つてほしい。

質問 中学校部活動指導員100%にするための必要人数と配置を伺う。

答弁（教育長）国の基準1校1名配置に基づいて市内全てに配置する。予算は、国・県・市の負担が三分の一となる。角中は、市費負担で1名加配する。

市職員について

質問 職員の日直業務の委託について、検討結果を伺う。

答弁 勤務体制は各庁舎2名である。日直手当てが年間320万円ほどになる。戸籍関係の届け件数も年間角館庁舎約110件、西木・田沢湖は20件ほどであり、見直す必要がある。令和7年度に実施する。

質問 職員の遺憾な事案が、二度と発生しない取り組みを、市民に向けて本気度を伺いたい。

答弁 市長として、再発防止に全力で取り組むことが私の使命だと考えている。

（平岡 裕子 記）

用語
解説

※コミュニティ・スクール…地域住民や保護者等が学校運営に参加する合議制の機関である学校運営協議会を設置した学校



澤田 雅亮 議員

ふるさと納税が廃止されたら…

市長

臨時的な財源に依存しない 持続可能な財政構造の確立に努める

ふるさと納税について

質問 ①ふるさと納税がない場合、財政破綻の可能性は。また既存事業、新規事業の継続・施行ができなくなるのか。②手数料を引いて実際に使える金額は。③年間貯蓄の想定額について。④令和6年度の寄付額はいくらを目指しているのか。

答弁 ①ふるさと納税

がなければ現在と同規模の予算を確保することができず、市民サービスに重大な影響を及ぼしていたと認識する。②令和6年度当初予算には、10億2,706万円を寄付者の指定するメニューに応じた事業に充当している。令和5年度の寄付額は24億円を超え、返礼品や経費等を除くと、概ね11億円が基金積み立て後に一般財源として使用できる。③一般的に財政調整基金残高の目安とされる標準財政規模の10%から20%、11億円から23億円を常時確保している状態にしたい。④当初予算に計上の15億円を最低ラインとし、今年度



■秋田大生デザインの樺細工カレンダーはふるさと納税返礼品の限定品

並みを目指に取り組む。

仙北市職員の残業について

質問 ①令和5年度は1割の残業カットを目指すと言っているが、予定カット時間、歳出は。②サービス残業の問題など一部職員の負担増に繋がる懸念はないか。

答弁 ①残業時間は前年同月

比較で約8%の縮減、令和3・4年度の時間外勤務手当の総額平均は約8,600万円、令和5年度は1月までの集計で残業代が17%カットできる見込みだが、令和3・4年度

の複数の選挙事務や、災害対応に係る時間外勤務を除いて試算すると5%の削減となる。②時間外勤務の際は、所属長の事前決裁後、勤務を行うことが基本だが、近年管理職の時間外勤務増加が顕著に見られる。

仙北市職員の組織改革と育成、チャレンジ精神の向上について

質問 ①令和5年度の年代別離職者数、受験者数と合格者数の推移について。②人事評価査定基準と、前市政と評価の違いはあるか。③今後の若手職員の育成について。④農林商工部を市の産業に直接的・機能的に組織改編する案について。

答弁 ①退職者は増加見込みで、令和5年度の大卒の受験者は14人、合格者4人、採用者3人。②人事評価実施要綱運用手引きを基準とし、前市政と大きな違いはないが、今年度人事評価システムを導入した。③政策形成力、行程管理能力、ファシリテーション力など、政策人材育成を推進する。④農林商工部は、生産者・販売者の強みを生かし、引き続き生産者組合、商工会と連

携していく。組織の在り方については今後も検討していく。

地域振興策について

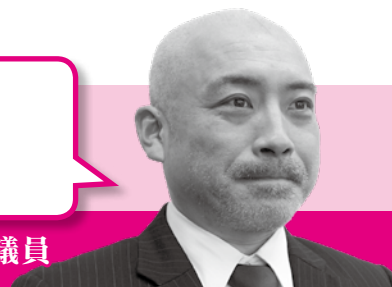
質問 ①サテライトオフィス誘致企業で進出した企業数は何社か。また、現段階で進出が決まっている企業はあるのか。②インターナショナルスクール誘致の今後のスケジュールは。③企画部の人員確保と、人材育成の進め方は。④空き家バンクの利用状況と利便性について。

答弁 ①(株)リベンリと嘉創(株)が角館駅前のシェアオフィスに進出し、さらに複数社が進出に前向きな姿勢を示している。②1月に開催したツアーでサマーキャンプ地として検討したい申し出があった。また、学校設立に前向きな法人については、地元事業者と具体的な交渉に入っている。③企画部は事業初動部署であるが、人事関連部署や政策支援アドバイザーと連携し、さらなる強化を図る。④令和6年度は、移住空き家ワンストップセンターの整備を進めたい。

(西宮三春記)

仙北市民会館の計画的な改修を

田口 寿宜 議員



市長

今後も安心・安全に使い続けるため 責任を持って取り組む

令和5年第6回定例会の一般質問を振り返る

質問 田沢湖・角館間は命をつなぐ路線である。どのような検討をしているのか伺う。

答弁 田沢湖地区から角館総合病院への交通手段の要望があると認識している。需要数や需要のある地域などの詳細な調査を実施し、その上で市民バス方式が良いか、デマンド型乗合タクシーが良いかなど、費用面と利便性を比較して検討する必要があると考えている。

今後はたつこちゃんバスを小型化の上、2台体制にする、もしくはNPO団体での運行も含めた新たな方式やデマンド型乗合タクシーの導入について、引き続き検討を進め、早期実現に向けて取り組んでいきたい。

質問 市民会館の緞帳でんちやうの設置費用が4億5千万円との答弁があったが、最低限の修繕で88万7千円の見積りを確認した。最低限の修繕に予算をかけることができない理由と今後の改修について伺う。

答弁 (教育長) 88万7千円は、緞帳をワイヤーで固定する落

下防止のみの経費である。上げ下げを操作する制御盤の改修が必要であり、この予算のみでは計上していない。

舞台吊り物関係の改修計画は、舞台にある緞帳、スクリーン等の電動化、反響板装置の設置、傷んだ緞帳の補修などの改修や漏電対策等で4億5千万円程度の金額となる。改修する場合は、長期休館とならないよう、安全を確保し、効率的で費用対効果の高い改修計画とする必要がある。国の補助金にこだわらず、地方債なども含めた財源を検討し、できるだけ早期に改修できるように検討を進める。

答弁 令和6年度に、地域力創造アドバイザーに就任頂き、具体的に財源を確保した上で、早急に市民会館の大規模改修に着手したいとの覚悟である。かけがえのない仙北市民会館を今後も安全・安心に使い続けられるよう、市長として責任を持って取り組む。



■市長が責任を持って改修するとして市民にとってかけがえのない市民会館

農業・畜産振興について

質問 水田活用の直接支払交付金の条件が厳格化されおり、5年に1度の水張りが必要となっている。この制度の撤廃や、水張りを7年、8年に1回への延長する条件緩和に向けた働きかけを、市長を先頭に当局がするべきではないか。

答弁 制度が成立する前に土地改良区や自治体の首長、地元出身の国会議員の方々に、現実的ではないと話をした

が、水田に対しての支払交付金で、水田でなければいけないということから、政府で制度を確立した経緯がある。実態に對し厳しい制度と今でも思っており、引き続き是正について何とか要望していきたい。この声は全国からまた上がってくると思うので、今後もしっかりと取り組んでいきたい。

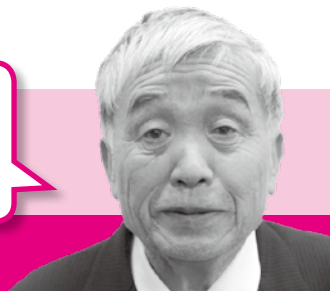
質問 仙北和牛の銘柄確立、ブランド化を図ることが農業振興の一役を担い、かつ、新たなふるさと納税の返礼品にも繋がっていく。市内の飲食店、宿泊施設で、市内で育った牛が食されるということは、仙北市内の経済の拡大にも繋がる。本来は農林商工部で進めていくことが求められる姿ではないかと考えるが見解を伺う。

答弁 ここに来なければ食せないような、魅力ある食材、食文化もふるさと納税に当然繋がってくる。日本だけでなく、海外の方々も日本の和牛を求め、旅行もされている。市としても、このような食のブランド化を目指し、稼げる農業に繋がるので、しっかりと支援していきたい。

(小田島 広仁 記)

庁舎移転集約のメリットは何なのか

高久 昭二 議員



市長

中長期的な視野に立った庁舎運営が可能となる事である

仙北市本庁舎機能移転集約(案)について

質問 仮称仙北市角館上野庁舎移転集約(案)のメリットは何なのか。また、デメリットは全くないのか。

答弁 メリットとしては、中長期的な視野に立った庁舎運営が可能になることや、人口減少、財政の縮小など、時代の変化に対応できることである。築65年を目前に庁舎の運用に見直しをつけ、よりコンパクトな庁舎運営へスムーズに移行するための土台を、最も有利な財源で構築し、将来に負担を先送りしない選択が可能になることや、危険な公共施設の解体が可能などである。

デメリットに関しては、災害時の初期対応や現在の場所が本庁舎でなくなることによる対応力低下等について懸念する声があるが、意見を踏まえ、移転集約後



■住民サービスは低下させずメリットを最大限生かして集約を

の不安を解消する提案を示せたいと思っている。

質問 本庁舎移転集約に伴う、市民に対する影響は何なのか。

答弁 市民説明会では、身近な庁舎が無くなることに對して不安を抱える市民がたくさんいることを切に感じた。防災や対応力の低下の懸念を払拭し、将来の明確な見通しや、市民生活を守るために必要な財源の確保に向けた道筋を示すことで市民生活に与える影

響をなくし、今回の移転・集約が市民のために行うことである旨、御理解いただけると確信している。

歴史的文化遺産(有形・無形文化財)の活用について

質問 角館伝建群地区以外に位置する史跡(旧芦名家兵具庫)の保存活用について、どのような考えているのか。

また、黒倉遺跡・遺物の保存の状況は。

答弁 旧芦名家兵具庫については、仙北市文化財保護審議会の答申を受け、令和4年12月28日付で仙北市指定文化財の解除している。今後の存廃については、所有者の意向によるものと考えている。

田沢湖卒田の黒倉遺跡は、縄文時代前期・中期の遺跡で、この付近の中心的集落であったことが分かっている。土器や石器なども多量に出土し、30種が黒倉遺跡出土品として市の有形文化財に指定され、土偶は秋田県有形文化財に指定されている。

JR田沢湖駅2階に、森と遺跡の展示室を整備し、黒倉遺跡、湯前遺跡を含む田沢湖地域の縄文時代の暮らしを知

ることのできる空間となっている。仙北市には有形無形の文化財が数多く存在することから、身近な地域の文化遺産に触れる機会を増やすため、教育委員会との連携を図っていきいたいと考えている。

仙北市地場産業の振興を目指して

質問 地元地場産業(製材工場等)の振興を目指すためにどのような考えているのか。

また、田沢湖生保内の黒沢工業団地の企業誘致と利活用については、どのような考えているのか。

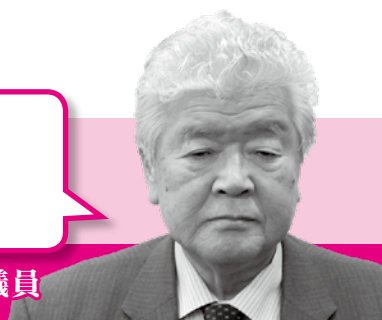
答弁 林業に関しては、様々な情報を仕入れながら振興を図り、仙北市の雇用の確保を目指していきたいと考えている。

黒沢工業団地の活用策については、ある企業から進出に関しての照会があったが、本市が目指す雇用を前提とした活用方法と乖離があるため、断念した経緯はある。引き続きトップセールス活動などを行い、企業誘致に向けて活動を継続していく。

(真崎寿浩記)

電気自動車（EV）の 充電スタンド設置は考えていないのか

蒼生会 小林 幸悦 議員



市長

民間事業者のアプローチもあり、 国の補助金も活用し前向きに検討する

仙北市のほ場整備状況について

質問 ほ場整備事業について、事業採択となり事業が始まるのは何地域あり、面積はどの位か。

答弁 現在事業採択予定となっているのは、大瀬蔵野地区の1地区で、面積は48・4haとなっている。令和3年度から令和5年度にかけて調査を終了し、令和6年度事業採択で実施計画を予定している。面工事は令和7年度から開始し、令和11年度の完了を見込んでいる。

質問 現在事業採択に向けて取り組んでいる地区と面積、整備事業実施までの期間について伺う。

答弁 現在、県の管理計画に登録している地区は、角館の広久内前田地区、西木の佐曾田・堂村地区、長戸呂地区、田沢湖の上真崎野地区の4地区で、総整備面積67haの見込みである。

期間については、調査期間に3年が必要で、その後採択となり、面工事に移行するため、ほ場整備面積にもよるが、工事完了まで、約10年の期間が必要となる。

質問 今後の整備事業は、農地中間管理機構関連農地整備事業が主流になっていくのか。

答弁 農地集積加速化整備事業は、事業費に対して地元の負担金7・5%が必要となるが、農地中間管理機構関連圃場整備事業は、地元の負担金が無いことから、地元へのメリットが高いと考えられるため、秋田県としても現在はこちらを推進している。また、基盤整備を願う地域の方々の一番の悩みは、要件のハードルが高いことですが、地域の合意形成を図り、整備される地区と相談し、地域の協力を頂きながら整備を進めていきたいと考えている。

公用車におけるカーボンニュートラルの取り組みについて

質問 新たな充電スタンドの設置は考えているのか伺う。

答弁 急速充電器の設置費用は高額で、500万円から700万円が相場である。導入に係る経費、電気料金、メンテナンス費用、保険料など、年間数十万円から数百万円程度必要となる。充電サービスを提供していた時期もあった

が、利用者は稀であったこともあり、環境政策、インフラ整備を優先し、充電スタンドの設置は行わないこととした。

しかし、他自治体の現況を調査したところ、自治体主導での設置は殆ど無かったが、土地のみを提供し、設置や充電サービスについては、民間が有料で実施している事例が多くあった。現在、設置について国の有利な補助金もあり、民間事業者からのアプローチもある中で、設置について前向きに検討したい。

質問 現在仙北市には何台のEV車を所有しているのか。

答弁 現在3台所有しており、いずれも平成23年から平成27年式の車両で、すでに8年から13年経過しており、1時間以上の走行には不安がある状態である。

質問 国の方針で2035年には、ガソリン車の新車販売を廃止するようだが、公用車



■復活なるか 電気自動車の充電スタンド

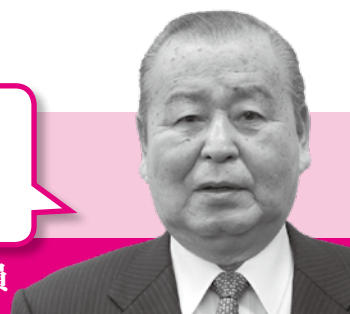
の対策は考えているのか。

答弁 仙北市としても、カーボンニュートラルの実現に向けて、財政面なども考慮して、今後の車両更新は、プラグインハイブリット車やハイブリット車などの電動車の導入を検討していきたい。

質問 仙北市は、何台の公用車を所有しているのか。また、カーナビ、ドライブレ

コーダーの装着状況を伺う。
答弁 特殊車両も含めて、227台を所有またはリースしている。カーナビは25台、ドライブレコーダーは、23台装着している。事故やトラブル対応のため、装着について統一を図りたいと考えている。

（中村和彦記）



蒼生会 青柳 宗五郎 議員

昨年7月の大雨災害の復旧状況はどの程度進んでいるのか

市長

令和6年度への繰越しも多いが 農業設備は作付けに間に合わせる

昨年7月の大雨災害の復旧状況について

質問 農林部、建設部等災害の復旧はどの程度進んでいるのか。

答弁 小黒沢ため池とそれに係る水路、農道については年度内完成が困難となったことから繰越し予定だが、令和6年度の作付けに合うよう努力、対応する。林道堤沢線は冬季間の施工となることから、令和6年度へ繰越し予定である。

減災・防災対策として入見内川・刺市川の河川改良事業については、継続して予算を確保するため、仙北振興局長へ要望書を提出している。

林道の復旧は、37路線を3工区に分けて発注しているが、進捗率が37.5%から81.8%であり、年度内完成は困



■今年の水稲作付けに水の確保は間に合うのか
(昨年7月の大雨で決壊した中川地区小黒沢ため池)

難なことから、令和6年度に繰越し予定である。

市単独事業では2月末時点で道路、橋の復旧では16路線19箇所のうち4箇所を残し完成済みである。

質問 現在、まだ通行止めとなっている市道はあるのか伺う。

答弁 現在も通行止めの市道は、令和6年4月末規制解除予定の山谷川崎黒沢線、同年5月末規制解除予定の小山寺

下田線、大仙市での復旧工事待ちの八割大沢線の3路線である。

災害対策について

質問 防災関係で避難所の環境や備品等の不足が言われているがどうなっているのか。

答弁 避難所に指定された下延及び八割コミュニティセンターへのクーラー設置工事は終了し、神代就業改善センターは3月19日の工期となっている。

避難所のベッドは段ボールベッドではなく、組み立て式の簡易ベッド45台を準備した。備蓄品の不足分は3月末までに納入予定であり、その後それぞれの箇所に配備する。

給水車1台も加圧式に更新予定である。

質問 能登半島地震の復旧状況をみると、水道の復旧に難儀しているが、仙北市としての水道の耐震化についての考え方を伺う。

答弁 地震等の災害時は可能な限りの給水を維持するため、水道施設の耐震化について早急な対応が必要である。仙北市は水道管全体の1/3が耐用年数を超過しているこ

とから、令和6年度から、国庫補助事業と併せて市単独事業により、水道設備の耐震化率向上に努めたいと考えている。

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税が過去最高額となっているがその内訳を伺う、また一部を目的税として利用する考えはないか。

答弁 返礼品の主な内訳として、米が82%、食品加工品が8%、麺類が4%の内訳である。

寄付を頂く際に、①田沢湖再生②高齢者③子供④歴史・文化⑤観光⑥自治体におけるの中から指定をいただき、寄付者の意向に沿った使い方をして各事業の予算に充当しており、市の予算を成立させる為の重要な財源となっている。

本来であれば、ご指摘のとおり、ある目的に沿った財源として活用すべきと考えるが、現状は異なることを理解いただきたい。

(荒木田 俊一 記)

総務文教常任委員会

令和6年度 一般会計当初予算

防災行政無線の新システム導入に1億2,276万円を計上

令和6年度一般会計当初予算の内、総務部、教育委員会関係予算が審査されました。令和7年度から現行の防災行政無線を廃止して、新たなシステムを導入する予算や小・中学校のトイレの洋式化工事を継続して行う予算などが計上されております。

令和6年度 一般会計当初予算（総務文教常任委員会で審査した項目）

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較	備考
議会費	1億5,792万円	1億5,264万円	528万円	議会運営に関する予算
総務費	45億328万円	40億8,616万円	4億1,712万円	人件費など行政運営全般や企画政策費（ふるさと納税返礼品やふるさと納税基金積立てなどの増加）
消防費	9億4,904万円	8億3,198万円	1億1,706万円	災害対策、大曲仙北広域消防や消防団に関する予算（防災行政無線の新システム導入・構築のための増加）
教育費	15億9,910万円	15億4,444万円	5,466万円	小・中学校や公民館等の予算
公債費	20億7,716万円	21億7,434万円	△9,718万円	借入金の返済

令和6年度 総務部・教育委員会関係の一般会計当初予算の主な事業

防災行政無線維持管理費	1億2,276万円	防災情報配信の新システム導入・構築を行う
インターナショナルスクール誘致事業費	2,892万円	インターナショナルスクール誘致に取り組み、交流人口の増加、雇用機会の創出を目指す
移住体験推進事業費	905万円	移住体験ツアーの企画や移住体験住宅の購入・整備費等
メルカリ事業費	10万円	メルカリを活用し、行政自らリユースを実践する
秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金	7,980万円	秋田県、北秋田市、仙北市が秋田内陸縦貫鉄道(株)を存続させるための補助金
仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費	447万円	仙北市で働き生きていくイメージを養い、将来的な若者の地元企業就職率の向上を目指す
角館・白岩小学校統合関係事業費	149万円	令和7年3月をもって閉校する白岩小学校の関連行事
学校施設環境改善交付金事業費	2,514万円	小・中学校のトイレの洋式化工事費（洋式化60%を目指す）

令和5年度に完成した小・中学校の洋式トイレを視察

総務文教常任委員会協議会で、学校施設環境改善交付金事業で行った市内小・中学校のトイレの洋式化工事が終了し、完成した学校のトイレを視察しました。

学校のトイレ環境が改善され、子どもたちと来校される方が気持ちよく利用できるようになったと伺いました。



令和6年度仙北市集中管理特別会計予算について
質問 歳出2款1項1目、人件費集合支払費の中で、総合事務組合負担金が1億3,000万円ほど減額となっているがその理由は。
答弁 令和5年度は、定年が1年間延長となるため退職者がいない。このため前年度と比べて退職負担金の額が減少した。

意見 できるだけ現行の旅費とし、市長と協議する場面がないように努めていただきたい。
質問 条例内にある旅行における特別な事情とは何か。
答弁 例えば、知事のトップセールスに市長が同行した場合など、旅費の宿泊費に県と差額が生じることがあり、市長と協議のうえ、宿泊費の差額支給を可能とする条例改正である。

仙北市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について

意見 条例制定については各施設統一した形で行ってほしい。
答弁 市全体で約100万円を見込んでいます。

質問 1年間を通して冷房料金は、どのくらいの収入を見込んでいるのか。

答弁 市全体で約100万円を見込んでいます。

総務文教常任委員会での主な質疑

ここが知りたい議論のポイント

市民福祉常任委員会

令和6年度 一般会計当初予算 民生費・衛生費に73億9,974万円 「こども家庭センター」開設など 子育て支援を拡充

令和6年度一般会計予算の内、民生費・衛生費が審査されました。近年の出生数の急激な減少など危機的な状況にある中、子育て支援の新規事業を多数盛り込むなど、少子高齢化・人口減少を最重要課題と位置づけた予算となっています。

令和6年度 一般会計当初予算（市民福祉常任委員会で審査した項目）

項目		令和 6 年度予算額	令和 5 年度予算額	比 較	備 考
民生費	社会福祉費	28億744万円	28億8,816万円	△8,072万円	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	17億1,269万円	16億3,733万円	7,536万円	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	4億5,377万円	4億5,224 万円	153万円	生活保護に関わる予算
	国民年金費	879万円	831万円	48万円	国民年金に関連する予算
	災害救助費	79万円	80万円	△1万円	災害救援に関する予算
	計	49億8,350万円	49億8,684万円	△334万円	
衛生費	保健衛生費	6億1,960万円	6億611万円	1,851万円	病気予防や医師確保、診療所の運営費などの予算
	水道費	1 億7,240万円	1億7,383万円	△143万円	水道事業会計への補助金などの予算
	病院費	8億1,271万円	8億2,934万円	△1,663万円	病院事業会計への補助金の予算
	清掃費	8億1,152万円	7億7,918万円	3,234万円	広域市町村圏組合廃棄物処理費負担金などの予算
	計	24億1,624万円	23億8,846万円	2,778万円	

令和6年度 市民福祉部・医療局関係の一般会計当初予算の主な事業

こども家庭センター運営事業費	354万円	子育て推進課と保健課の間に「こども家庭センター」を開設しワンストップで子育て支援
すこやか子育て保育料助成事業費	3,724万円	0歳児からすべての園児の保育料・副食費無償化する
就学前教育・保育施設主食費無償化事業費	192万円	3歳以上児の主食（米飯）を無償提供する
MRI 検診補助金	173万円	無痛MRI 乳がん検診費用の1/2（11,000円）を助成
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	60万円	補聴器購入費用の1/2（上限3万円）を助成する（20人分）
国民健康保険特別会計繰出金	2億464万円	一般会計からの国民健康保険特別会計への補助
介護保険特別会計繰出金	6,023万円	一般会計からの介護保険特別会計への補助
後期高齢者医療特別会計繰出金	1億3,737万円	一般会計からの後期高齢者医療特別会計への補助
水道事業会計補助金	1億5,794万円	一般会計からの水道事業への補助
病院事業会計補助金	8億1,271万円	一般会計からの病院事業への補助

ここが知りたい 議論のポイント

市民福祉常任委員会での主な質疑

市民福祉部に係る公共施設における使用料の適正化に伴う関係条例改正について

質問 昨今の物価高等を考えたとき、入場料も含め、施設全体の使用料の値上げ等の考えはなかったのか。

答弁 今回の値上げは市で管理する公共施設の冷房使用料のみについてであり、他の使用料の値上げは考えていない。

意見 市民の福祉に供する、という施設の目的があるため、地元住民が催し物や集いの場に、地元の施設を使ってもらおうという公共的な施設という考えを持って、臨機応変に対応して頂きたい。

今後の市立病院の収支改善について
質問 一般会計からの繰出金が多い病院事業の収支改善も含めた、次年度の取り組みはどのようなものか。

答弁 令和5年度に実施したコンサルタントから増収に向けた報告を受け、市内唯一の救急病院である角館総合病院は、救急の受け入れから入院への結びつけによる、急性期から回復期を担い、田沢湖病院では、急性期病院からの転院による回復期や施設からの受け入れなどの慢性期、及び人間ドックなどに重きを置き、両病院で地域を包括しながら、役割分担を明確にして、病院経営を強化する。

産業建設常任委員会

令和6年度 一般会計当初予算

土木費1億1,715万円の減額（国の交付金減額見込む）

令和6年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産費、商工費、土木費などの予算が審査されました。労働費が前年度対比で、1,064万円（17.0%）増額しておりますが、勤労者福祉資金預託金を1,000万円増額したことによるものです。

令和6年度 一般会計当初予算（産業建設常任委員会で審査した項目）

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較	備考
労働費	7,341万円	6,277万円	1,064万円	シルバー人材センター補助金等
農林水産費	8億6,408万円	9億1,343万円	△4,935万円	基盤整備事業、林道維持補修等（国県の補助金減）
商工費	8億3,318万円	8億4,073万円	△755万円	商工業振興、観光振興等
土木費	21億3,703万円	22億5,418万円	△1億1,715万円	除雪費、道路改良費等（国の交付金減、下水道補助金減）

令和6年度 観光スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計当初予算の主な事業

森林経営管理制度事業費	3,755万円	手入れの行き届いていない森林の経営管理権を取得のうえ、経営管理を行う
伝承館施設改修事業費	127万円	事務室へのエアコン設置とアスベスト調査費
田沢湖キャンプ場管理運営費	763万円	トイレ棟の新設工事費440万円と管理運営費
抱返り紅葉祭開催費補助金	133万円	臨時駐車場の警備、警備員の確保を今年から実行委員会に依頼する
国際スポーツ交流推進事業費	164万円	高雄マラソンにランナー3人、職員2名を派遣する
第51回東北スポーツ大会補助金	200万円	7月13日～14日に開催される国民スポーツ大会予選の馬術競技への補助金
リトリート推進事業	104万円	国内外から芸術作、音楽活動等の独自の感性を持っている方を招聘し支援する

ここが知りたい議論のポイント

産業建設常任委員会での主な質疑

農業委員会費について

質問 農業委員、農地利用最適化推進委員の報酬と農業年金加入者の人数について伺う。

答弁 両委員共に月3万7千円、会長5万円、会長職務代理者4万円である。令和6年2月現在の農業年金の掛け金を収めている人は11名、受給者は103名である。

農業振興費について

質問 当初予算が前年比5,593万円減となっているが、詳細について伺う。

答弁 事業完了により「ほ場整備区域地力増進作物付事業費補助金」342万円、「6次産業化施設整備支援事業費補助金」2,094万円。該当地域が無かったことにより、「機構集積協力金推進事業費補助金」2,180万円。

その他、「農地利用効率化支援事業費補助金」と「新規就農総合支援事業費補助金」が併せて1,131万円減額となったことが主な内容である。

田沢湖キャンプ場

トイレ棟新設工事について

質問 トイレ棟の設置時期、利用できる対象者について伺う。

答弁 来訪者がピークになる前に設置したいが、詳細は管理者と相談して進める。キャンプ場利用者だけではなく、湖畔を利用される方などが幅広く利用できるようにしたいと考えており、管理者へも指導を徹底していきたい。

市営住宅管理運営費

田中住宅除却費について

質問 何戸現存し、何戸に関して除却するのか。除却後はどのような状況になるのか伺う。

答弁 田中住宅は現在7戸管理しており、そのうち1戸が空き家となっている。老朽化が進んでいるため解体する方向で検討しており、除却後の敷地に関してはしっかりと草刈り等の管理をし、その後の活用を検討していく。

令和6年度 企業会計当初予算

企業会計名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較	備考
温泉事業会計	9,069万円	1億4,600万円	△5,531万円	施設等改良工事費などの減
水道事業会計	13億5,343万円	15億4,553万円	△1億9,210万円	水道新設及び老朽管更新などの改良工事費の減
下水道事業会計	15億2,523万円	15億6,289万円	△3,766万円	下水道・集落排水事業の企業債償還金の減

2年の任期を終えての所感



委員 西宮 三春

議員になって初めて議会だよりの編集を議員自らが行っていることを知りました。市民に伝わりやすいように一字一句を編集委員会でチェックしていますので、「読んだよ！」と声をかけてもらえる、本当に嬉しく励みになりました。

今後も市議会だよりを通して、市民の皆さまとしっかり繋がっていきけるように努力してまいります。



委員 真崎 寿浩

編集に携わっていつも思うことです。議会だよりはありのまま事実のみを伝える事のなかに、質問者や答弁者において、その人の思いや考え方を伝える（連想できる）ことができればと考えて編集しております。

活字における「伝える事」の難しさを実感しつつ、引き続き編集力を深めていきたいと考えています。2年間ありがとうございました。



委員 高久 昭二

議会と市民の架け橋となる「仙北議会広報」は、定例会毎に編集作成され、全戸に配布されています。

その中で、読まれる市民の声、感想がやや不足していました。

私も議員の一人として、今後共市民の方々から「議会広報」の声や感想をお聞きする様自ら伺いして、それらの声が広報編集に反映できる様、4月から委員会も再編されますが、努力していきたいと思えます。



委員 中村 和彦

広報委員の役割は、議会の内容を市民の皆様に分かりやすくまとめたものを、届ける事が、一番の使命です。限られたスペースの中で、皆様に伝わるように心がけております。もっと良いものを作るために、「ご意見」「ご感想」を是非ともお聞かせいただければ幸いです。2年間ありがとうございました。



委員 澤田 雅亮

広報委員会を2年経験してどうすれば市民にもっとわかりやすく伝わるのか、ということ意識し

ており、SNS等も合わせた周知に努めていました。ネットが中心の世の中においてもやはり紙で見たいという方々も多いと思いますのでよりわかりやすく、より簡単に一目で見てわかるような広報作りも今後検討していきます。



委員 平岡 裕子

とある議員研修会で自治体の長である方が、「選挙洗礼」という言葉を繰り返し話されたことを思い出します。録音を文字化した一般質問・答弁原稿をもとに、限られた紙面に両者の考えをまとめる難しさを毎回感じます。議会で質問が選挙洗礼の一役を担うとすれば尚更です。質問内容や担当執筆に叱咤激励の声もいただき感謝です。



委員 小田島 広仁

2年間、広報編集特別委員会に在籍し、重要な一般質問を限られた文字数で市民の皆さんにお伝えする難しさを強く感じました。何度もやり直しや文字の削減をする作業が続きましたが、質問内容、答弁を確認することで自分にとって大きな学びとなりました。

改めて思うことは、分かりやすく、印象に残る一般質問をすることが大切であり、今後も心掛けていきたいと思えます。



副委員長 高橋 輝彦

平成30年に初当選してから連続6年間、編集に携わってきました。なかなか、これまでの殻を抜け出せず、誌面の構成は殆ど変わっておりません。そろそろ、若手編集委員の大胆な発想による刷新が必要と感じております。

昨年度は経費削減のため、オール白黒になりましたが、今年度は表紙と裏表紙だけはフルカラーにしているはずですので、見て楽しく、読んで興味湧く「市議会だより」にしたいと思っております。是非、読んでいただいていたの感想を議会事務局までお寄せください。

人事案件

(敬称略)

教育委員会 教育長

須田 喬 (65歳) 【再任】

田沢湖生保内字下滝沢 62

伊藤 登志雄 (68歳) 【新任】

角館町中菅沢 92-12

田口 和典 (65歳) 【新任】

田沢湖生保内字男坂 7-2

伊藤 一智 (66歳) 【新任】

西木町上荒井字寺村 38

編集後記

市議会だよりNO67号より74号まで8回、2年間広報委員各位の協力により遅れることなく、無事発行し議会の動きを市民に届けることができました。

コロナ禍があり市民生活も大きな制約も受けましたが、少しずつ平時に回復傾向ですがまだまだとの思いです。

議会だよりの紙面も予算の関係からカラー刷りから白黒と変わり、多くの市民の皆様から読みにくいとの指摘もいただきました。また限られた紙面の中でできる限り多くお伝えしたいと思いかから文字も小さかったかもしれません。

市民の元氣な姿を伝えたり、仙北市の課題もあつた中で読んでいただくために見出しなどの文言に工夫が必要だったかもしれません。

振り返れば反省の多い2年でしたが皆様の叱咤激励に感謝申し上げます。



(委員長 荒木田 俊一 記)